

自助・・・自らの命は自ら守る！

皆さんは、防災士という言葉をご存知でしょうか。防災士とは、

自助、共助、協働を原則として、社会の様々な場で防災力を高める活動が期待され、そのための十分な意識と一定の知識・技能を修得したことを、日本防災士機構が認証した人です。

（特定非営利活動法人 [日本防災士機構](#) ホームページから）

下呂市では、自治会で地域の減災と地域防災力向上のために活動する防災士を育成するため、自治会の推薦を受けて防災士の資格を取得しようとする方に対し、下呂市防災士育成事業補助金を交付しています。また岐阜県では、「[清流の国ぎふ防災・減災センター](#)」が防災リーダー育成講座を実施しており、4日間の講習、レポート提出の後、試験に合格、日本防災士機構に登録（教本料、受験料、登録料合計 11,000 円を市が補助します）すれば防災士となることができます。（[今年度の募集は終了しました](#)）

下呂市では、平成 26 年度に「[下呂市防災士会](#)」が発足し、現在、会員は 147 名となっています。市では、防災士さんが防災、減災の地域力向上のため、自主防災組織の皆さんや消防団の皆さんと協働し、災害に強い街づくりを目指しています。

右の写真は、イベント時の下呂市防災士会による防災、減災に関する啓発ブースの様子です。



こうした活動のほか、9 月の防災訓練時の企画、運営などを、防災士さんが行っている地区もあります。

左の写真は、防災訓練時の地区における防災士さんによる講演の様子です。防災のエキスパートとして気を付けることや、防災、減災のためにできることを地域の皆さんに伝え、行動に結びつける役割を果たしています。



こうしたことから、市では全ての自治会（区）に防災士を育成することを目標としています。現在、多くの自治会に少なくとも 1 名の防災士さんがいます。防災リーダー育成講座は、今年度より岐阜会場のみとなり、平日または休日に 4 日間通っていただかなくてはなりません、地域の防災力向上と地域づくりのため、防災士を目指してみたいでしょうか。

★下呂市防災士会広報は、下呂市ホームページからご覧いただけます。「[南飛驒防災結塾瓦版](#)」
 次回は、自助についてお知らせいたします。